

【日々の研修コラム】

5月11日（水）の研修では、進路指導主事や生徒指導主事から、将来の卒業に向けた視点や学校生活等における視点で“どのような力が必要か”を話してもらい、今後の日々の授業で意識できるように、以下の部分を確認しました。

勝倉進路指導主事から

将来の進路に向けて大切にしたい力：「言語能力」「思考力」

卒業後どこにいても求められていることとして、「あいさつ」「返事」「報告・連絡・相談」等があります。また、「誰に」伝えているのか、学校内でも「先生」で済ませるのではなく、「〇〇先生」等を意識して覚える習慣を身に付けると、卒業後は「〇〇さん」と職場等で自らコミュニケーションが取れて、本人にとってもより豊かな自立と社会参加ができると考えています。

また、職場等で働くために「正しい知識のもとに思考し判断して表現する」という点において課題があります。「知識・技能」だけでなく、普段から学んだ「知識・技能」を活用して「よく考えて」から適切な判断をし表現できるようになってほしいと思います。



菊田生徒指導主事から

学校生活や家庭生活において大切にしたい力

「思考力」「判断力」そして、「成長を促すような生徒指導」

本校の生徒指導の課題について、生活習慣や規範意識、情報モラル等の課題があること、また今年の4月から18歳成人になり、保護者の同意がいらぬ契約等があることなど、社会の変化を踏まえながら学習指導をしていくことが大切になってきます。



自立した生活を送っていけるように、学習指導の場面では、道徳の時間、情報等の時間を活用しながら、「知識のみではなく、適切な行動選択できる思考力や判断力」を養うことで、本人にとってもより豊かな自立と社会参加ができると考えています。

このように、進路指導主事、生徒指導主事から、普段の授業で育てている「各教科等の資質・能力」「教科等横断的な視点に立った資質・能力（教科等の枠組みを越えた育む資質・能力）」の中で、特にどの視点が大切なのかを知り、うなずきながらメモを取る先生方も多くいました。

今後も、本校の育成を目指す資質・能力を育むために、各部と連携をしながら取り組んでいきたいと思っています。

